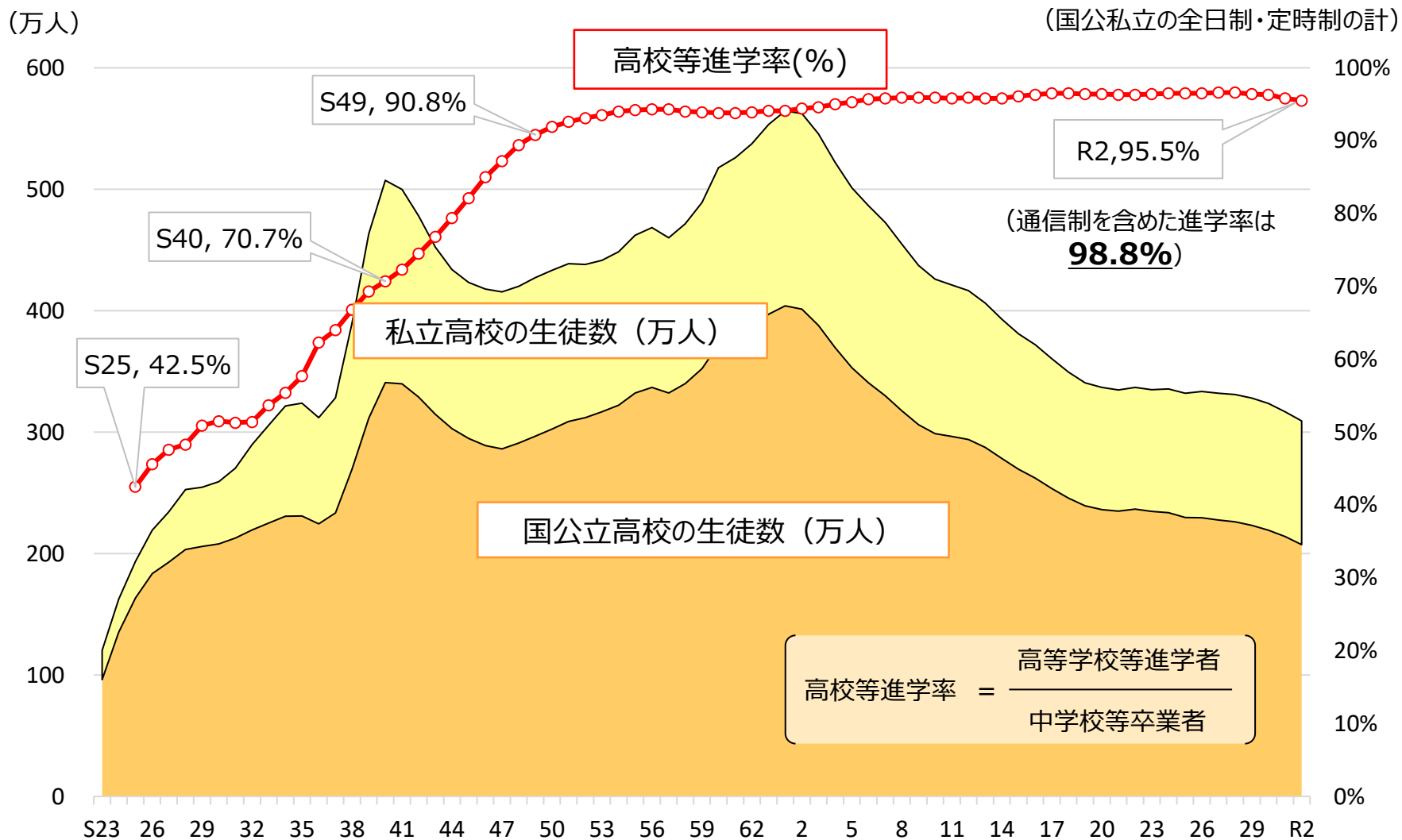


# 高等学校等への進学率 [推移]

○ 高等学校等への進学率は、令和2年度には98.8%にのぼっている。



※「高等学校等進学者」とは、高等学校・中等教育学校後期課程・特別支援学校高等部の本科・別科及び専攻科へ進んだ者。進学しかつ就職した者を含む。

(出典) 文部科学省「学校基本調査」

# 高等学校の学校数 [令和2年度]

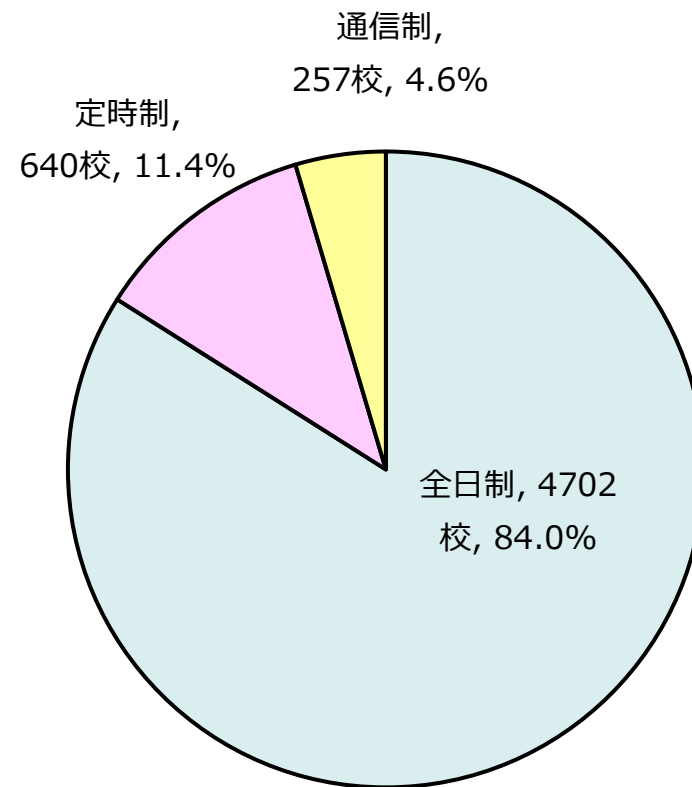
○ 高等学校の学校数（令和2年度）について、全日制高校は4,702校（全体の84.0%）、定時制高校は640校（全体の11.4%）、通信制高校は257校（全体の4.6%）。

(全日制・定時制課程) (校)

	国立	公立	私立	総数
全日制	15	2,924	1,295	4,234
定時制	—	168	4	172
全定併設	—	445	23	468
総計	15	3,537	1,322	4,874

(通信制課程) (校)

	国立	公立	私立	総数
独立校	—	7	110	117
併置校	—	71	69	140
総計	—	78	179	257



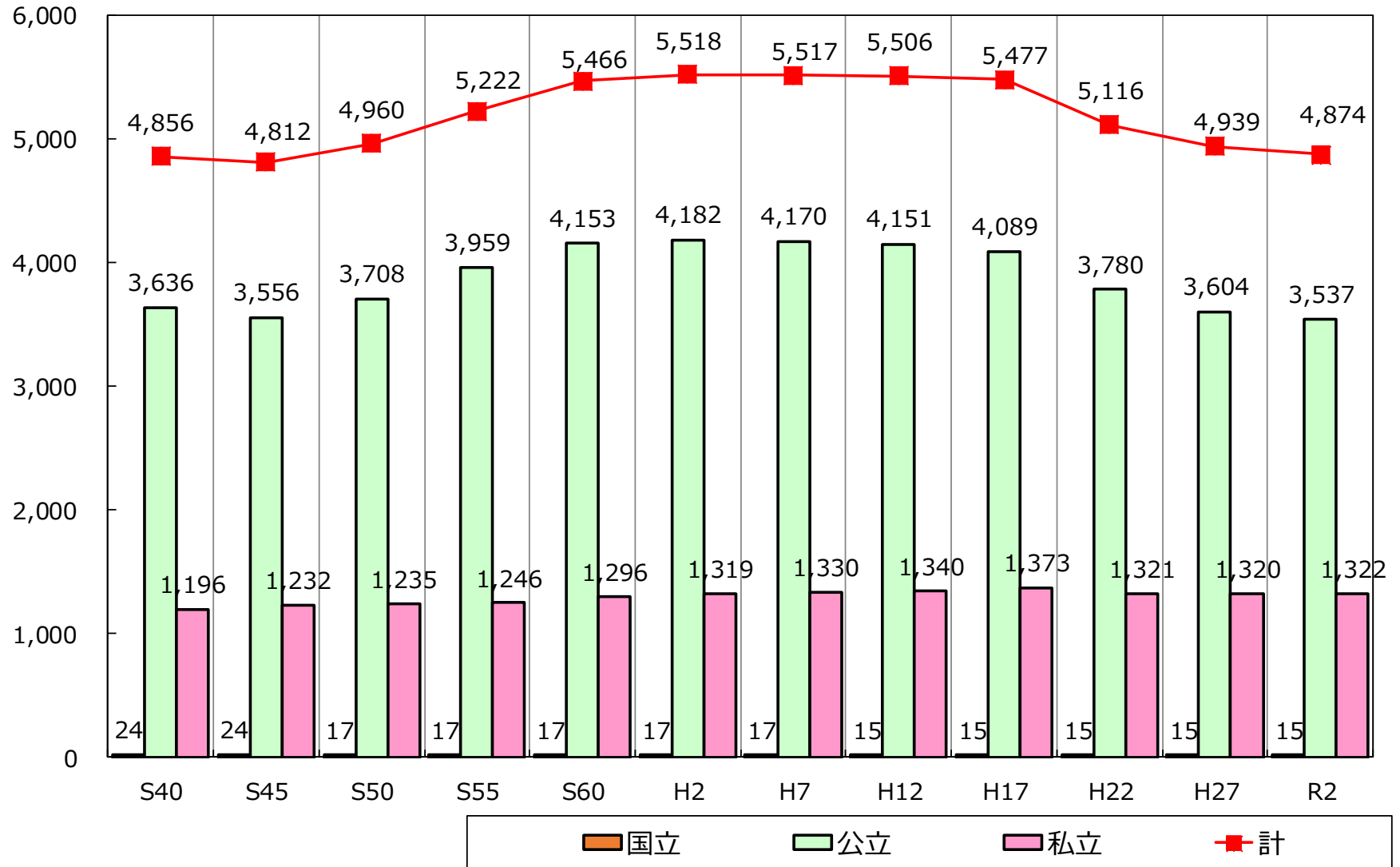
※一つの学校に課程が併置されている場合は、それぞれの課程について、重複して計上。

(出典) 文部科学省「学校基本調査」

# 高等学校の学校数（国公立別） [推移]

学校数（校）

（全日制・定時制課程）



（出典）文部科学省「学校基本調査」

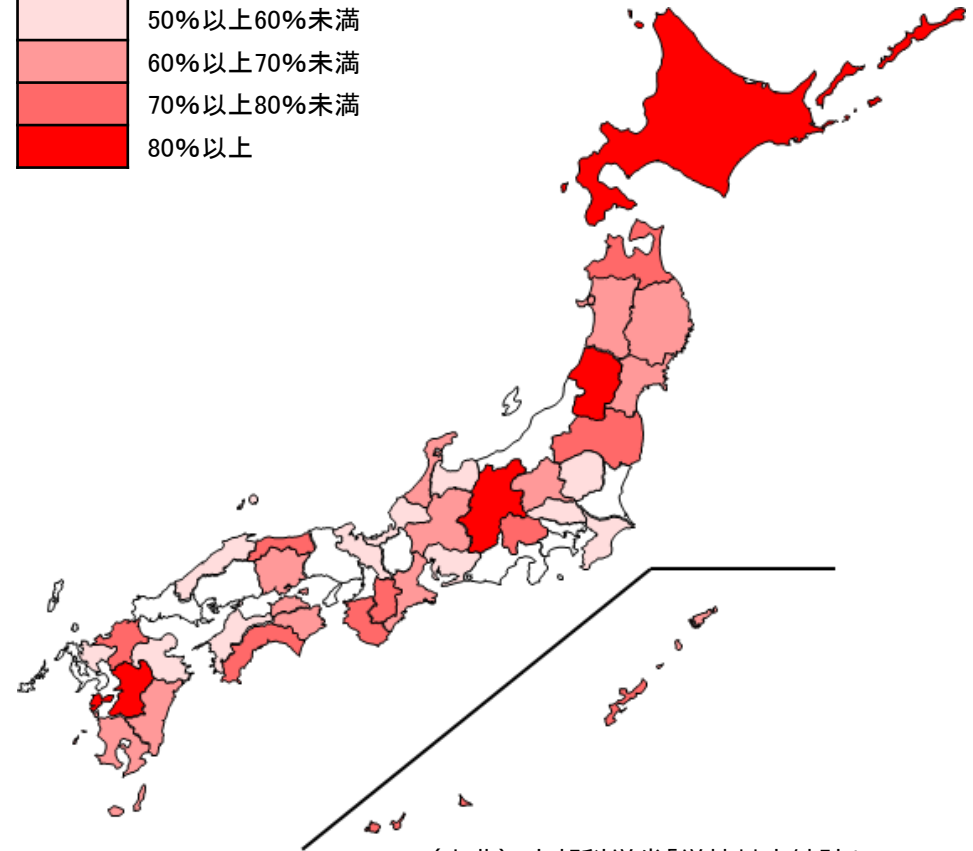
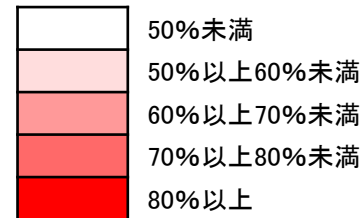
# 公立高等学校の配置（公立高等学校の立地が0ないし1である市区町村）

- 全国の市区町村（1,741）のうち、公立高等学校の立地が0ないし1であるものは1,088（62.5%）。
- 各都道府県における公立高等学校の立地が0ないし1の市区町村の割合が最も高いのは北海道の82.1%、最も低いのは兵庫県の31.7%。

令和元年度

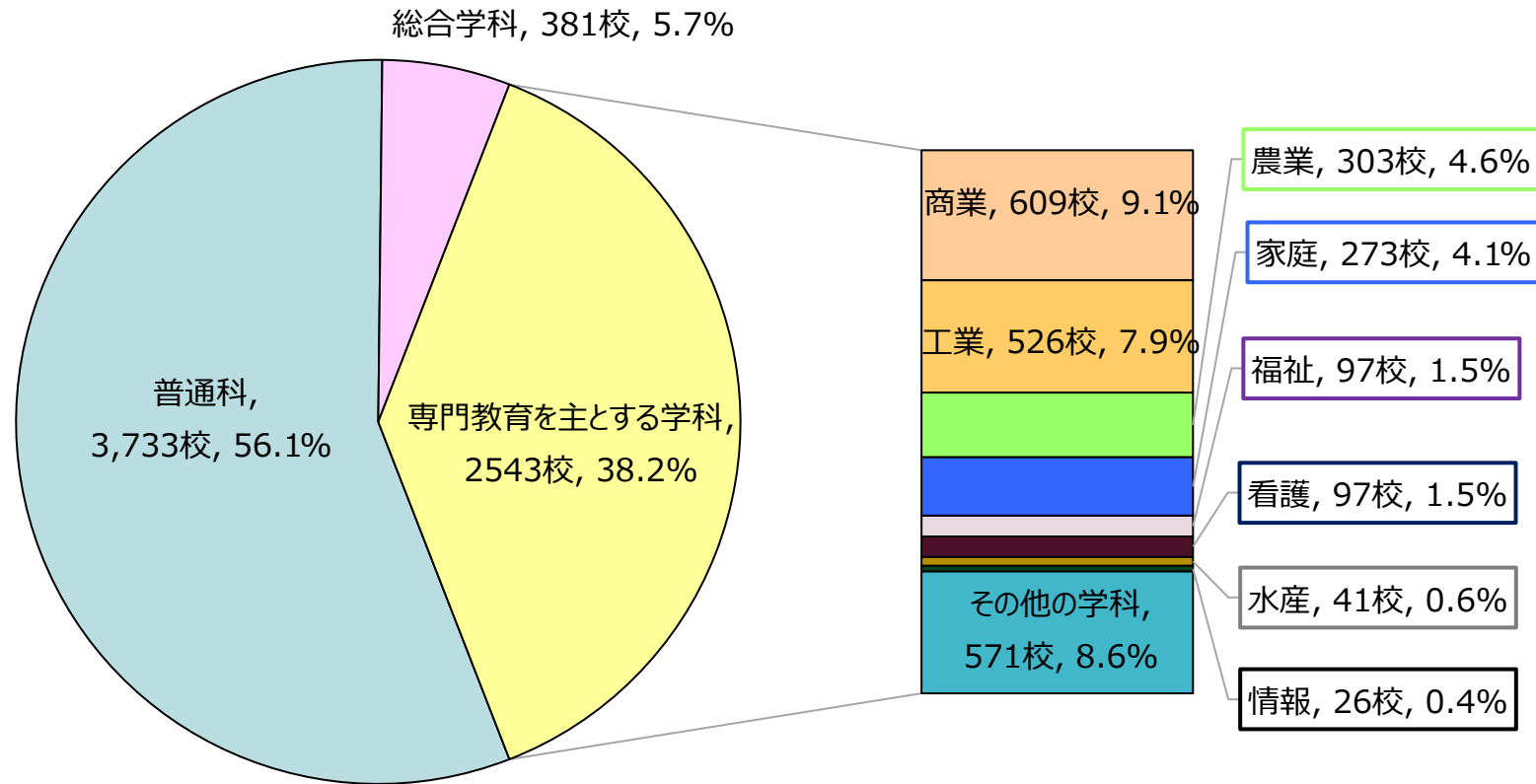
北海道	82.1%	( 147 / 179 )
青森	77.5%	( 31 / 40 )
岩手	60.6%	( 20 / 33 )
宮城	65.7%	( 23 / 35 )
秋田	64.0%	( 16 / 25 )
山形	80.0%	( 28 / 35 )
福島	76.3%	( 45 / 59 )
茨城	43.2%	( 19 / 44 )
栃木	56.0%	( 14 / 25 )
群馬	65.7%	( 23 / 35 )
埼玉	55.6%	( 35 / 63 )
千葉	51.9%	( 28 / 54 )
東京	32.3%	( 20 / 62 )
神奈川	48.5%	( 16 / 33 )
新潟	46.7%	( 14 / 30 )
富山	53.3%	( 8 / 15 )
石川	63.2%	( 12 / 19 )
福井	58.8%	( 10 / 17 )
山梨	74.1%	( 20 / 27 )
長野	80.5%	( 62 / 77 )
岐阜	66.7%	( 28 / 42 )
静岡	48.6%	( 17 / 35 )
愛知	50.0%	( 27 / 54 )
三重	69.0%	( 20 / 29 )
滋賀	36.8%	( 7 / 19 )

京都	50.0%	( 13 / 26 )
大阪	44.2%	( 19 / 43 )
兵庫	31.7%	( 13 / 41 )
奈良	74.4%	( 29 / 39 )
和歌山	70.0%	( 21 / 30 )
鳥取	78.9%	( 15 / 19 )
島根	52.6%	( 10 / 19 )
岡山	63.0%	( 17 / 27 )
広島	39.1%	( 9 / 23 )
山口	42.1%	( 8 / 19 )
徳島	66.7%	( 16 / 24 )
香川	64.7%	( 11 / 17 )
愛媛	50.0%	( 10 / 20 )
高知	76.5%	( 26 / 34 )
福岡	70.0%	( 42 / 60 )
佐賀	50.0%	( 10 / 20 )
長崎	38.1%	( 8 / 21 )
熊本	80.0%	( 36 / 45 )
大分	50.0%	( 9 / 18 )
宮崎	69.2%	( 18 / 26 )
鹿児島	67.4%	( 29 / 43 )
沖縄	70.7%	( 29 / 41 )
全国	62.5%	( 1088 / 1741 )
(参考:平成22年度)		
全国	60.3%	( 1055 / 1750 )



(出典) 文部科学省「学校基本統計」

# 高等学校の学校数（学科別） [令和2年度]



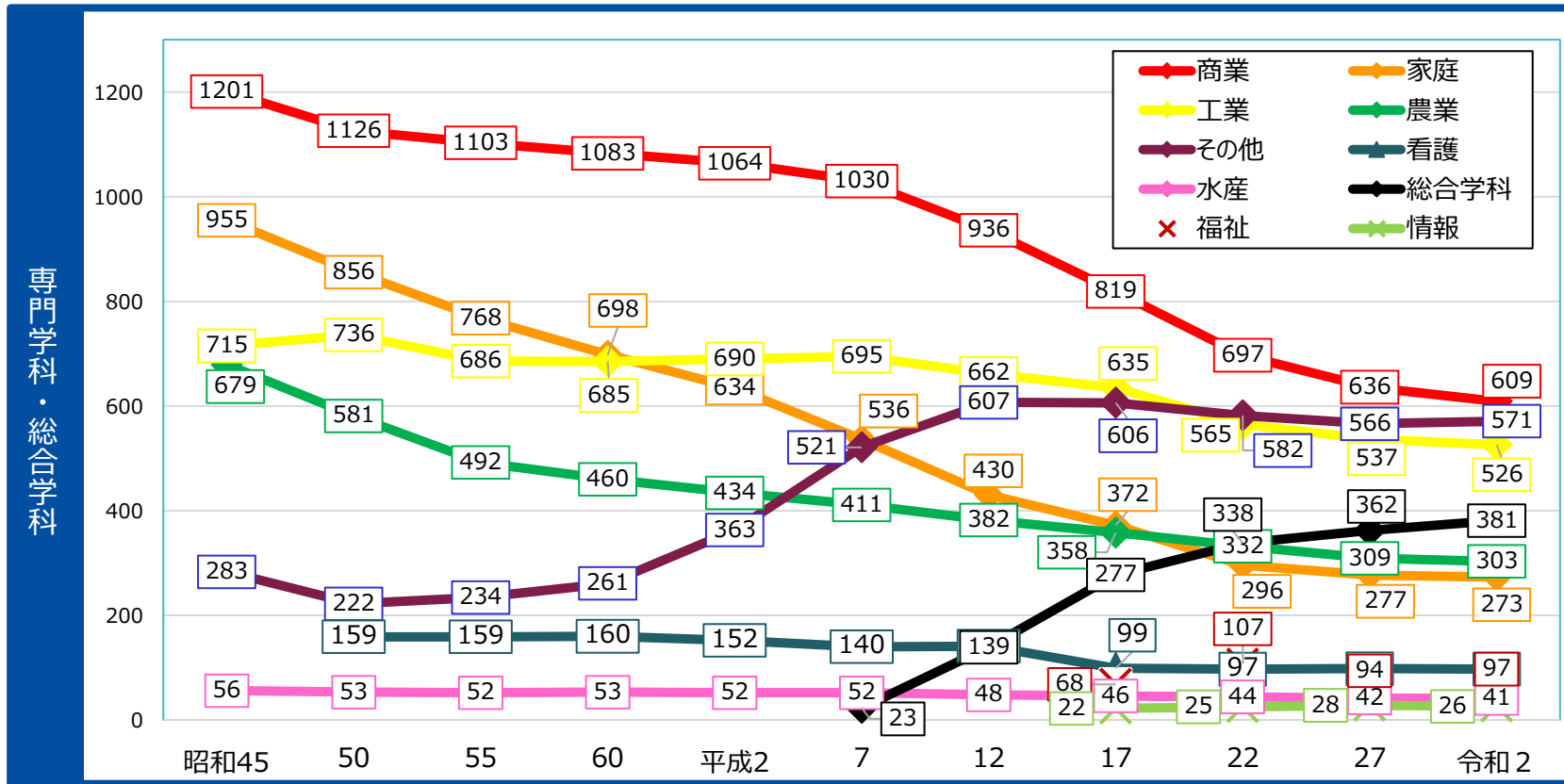
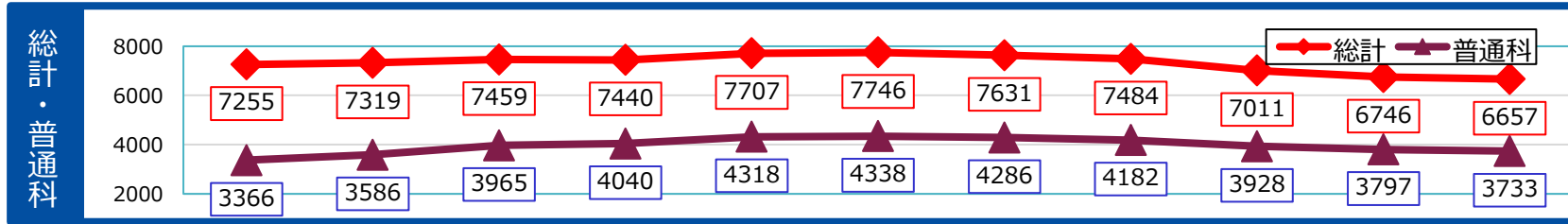
※全日制・定時制課程を置く学校数の計。

※一つの学校が2つ以上の学科を持つ場合は、それぞれの学科について、重複して計上。

※「その他」の学科は、専門教育を主とする学科のうち農業、家庭、福祉、看護、水産、情報に関する学科以外の学科（理数、体育、音楽、美術、外国語、国際関係など）の合計。

(出典) 文部科学省「学校基本調査」

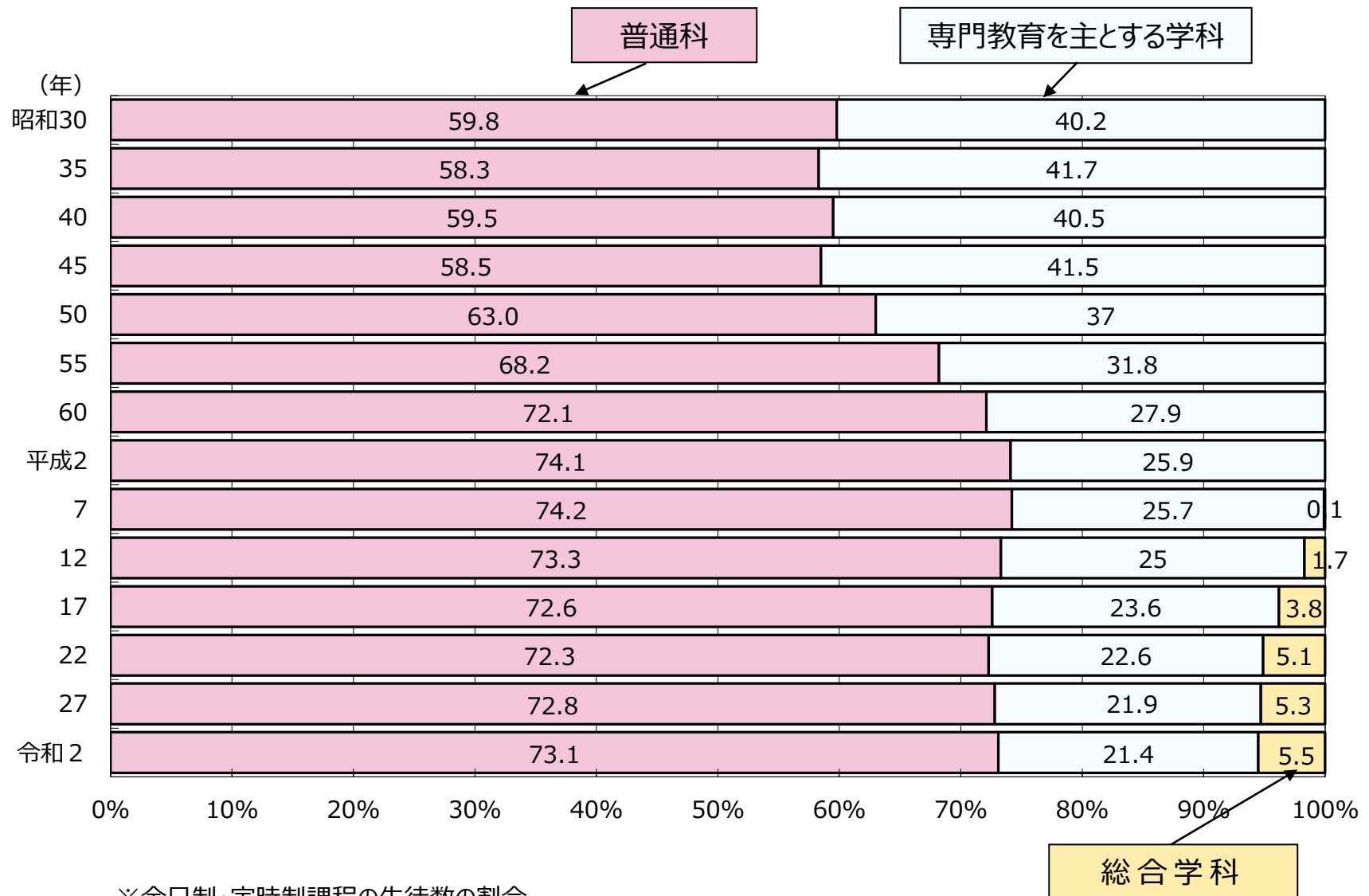
# 高等学校の学科数（学科別） [推移]



※全日制・定時制課程を置く学校数の計。  
 ※一つの学校が2つ以上の学科を持つ場合は、それぞれの学科について、重複して計上。  
 ※「その他」の学科は、専門教育を主とする学科のうち農業、家庭、福祉、看護、水産、情報に関する学科以外の学科（理数、体育、音楽、美術、外国語、国際関係など）の合計。

(出典) 文部科学省「学校基本調査」

# 高等学校の生徒数（学科別） [推移]

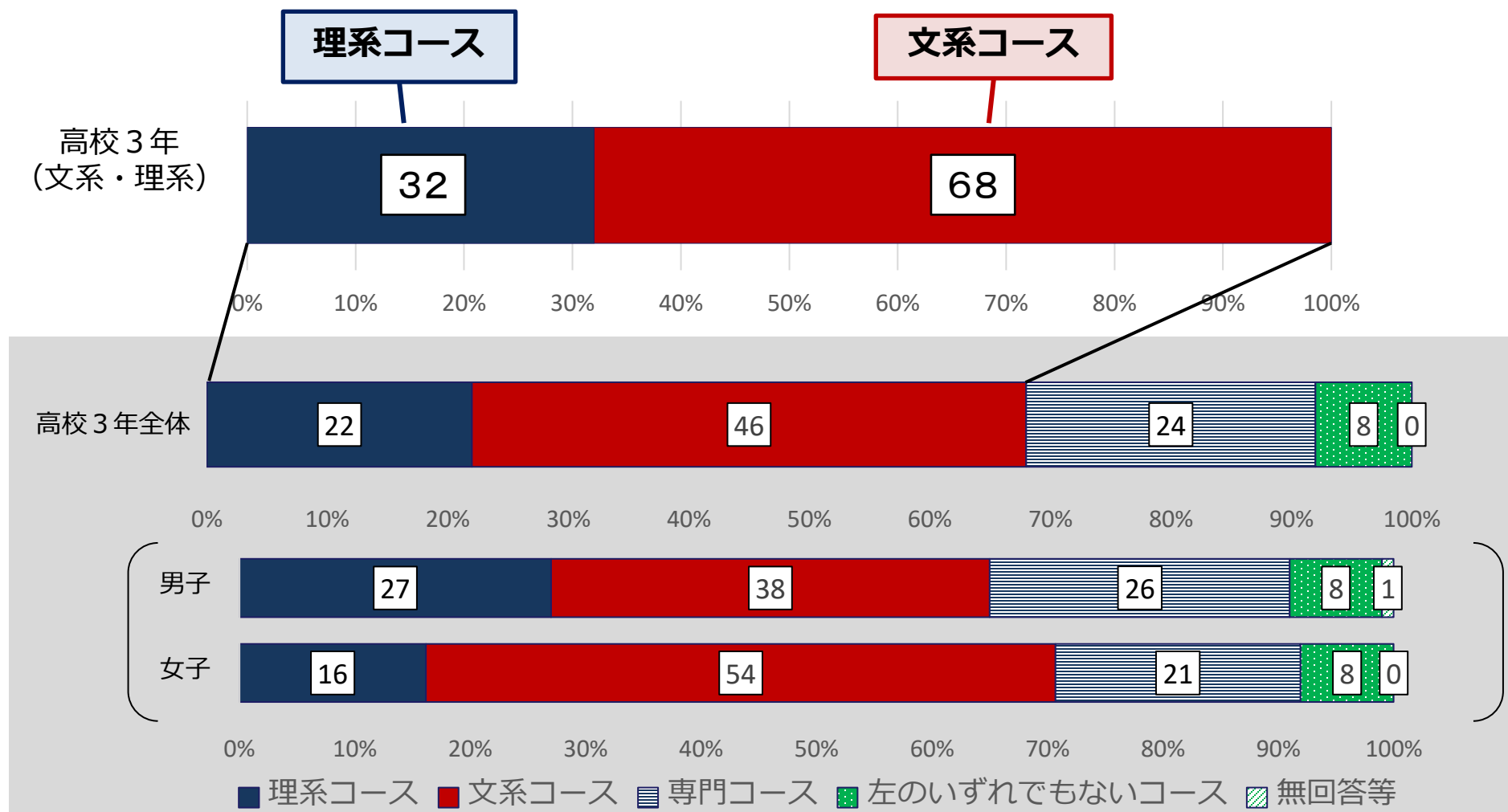


※全日制・定時制課程の生徒数の割合。  
 ※総合学科は平成6年度より制度化。

(出典) 文部科学省「学校基本調査」

# 高等学校生の文系・理系の選択状況について

- 高校の3校に2校（66%）では、文系・理系のコース分けを実施している。
- 高校3年（文系・理系）のうち、理系コースで履修する生徒の割合は32%、文系コースで履修する生徒の割合は68%である。

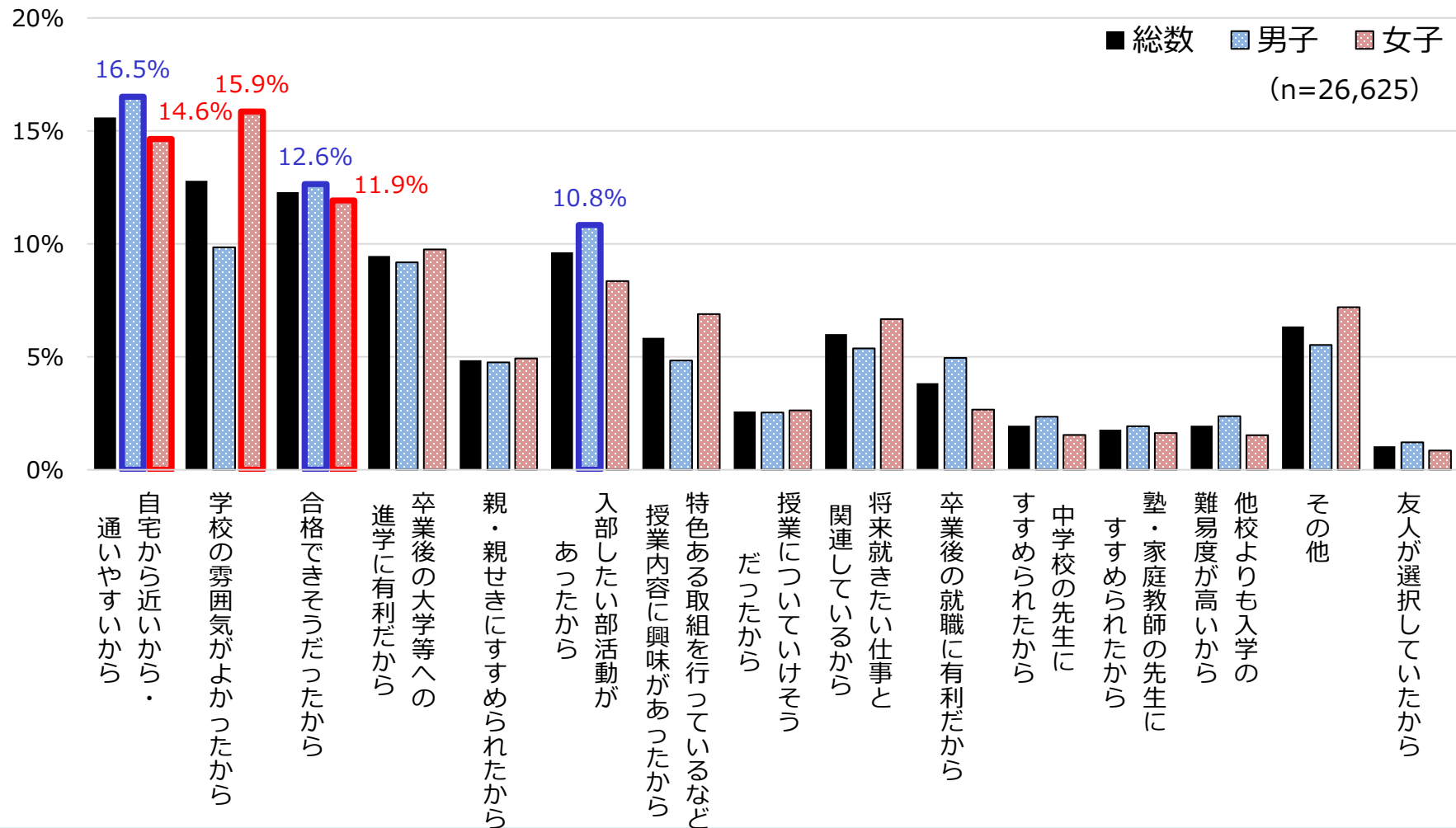




# 在籍する高等学校を選択した理由（縦断調査）

○ 学校選択の理由は、「自宅から近い・通いやすい」、「学校の雰囲気よかった」、「合格できそうだった」が上位。

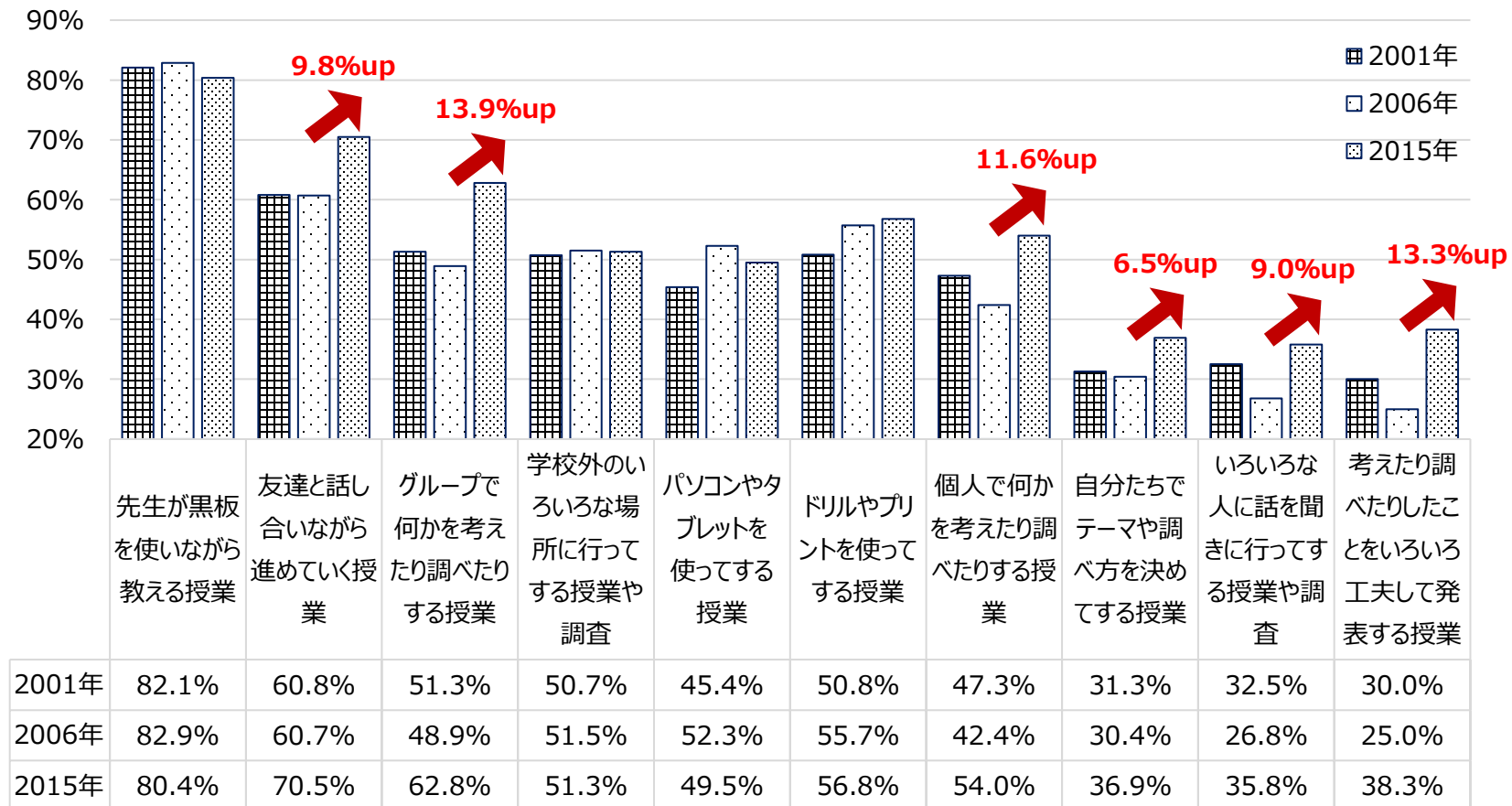
現在通っている学校を選択したのはどのような理由からですか。（特に強い理由を一つ選択）



# 授業で好きな学習方法（横断調査）

○ アクティブ・ラーニング型の授業を「好き」という回答が増えている。

あなたは、次にあげる学校の勉強方法が、どのくらい好きですか。（「とても好き」+「好き」の%）

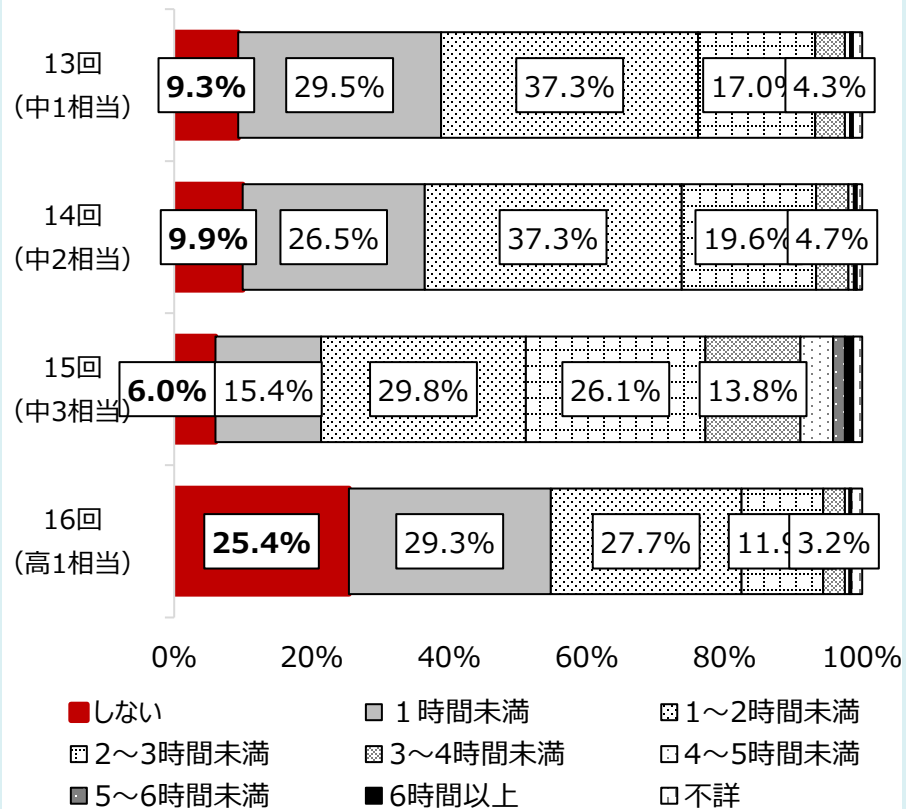


# 学校外での学習時間（縦断調査）

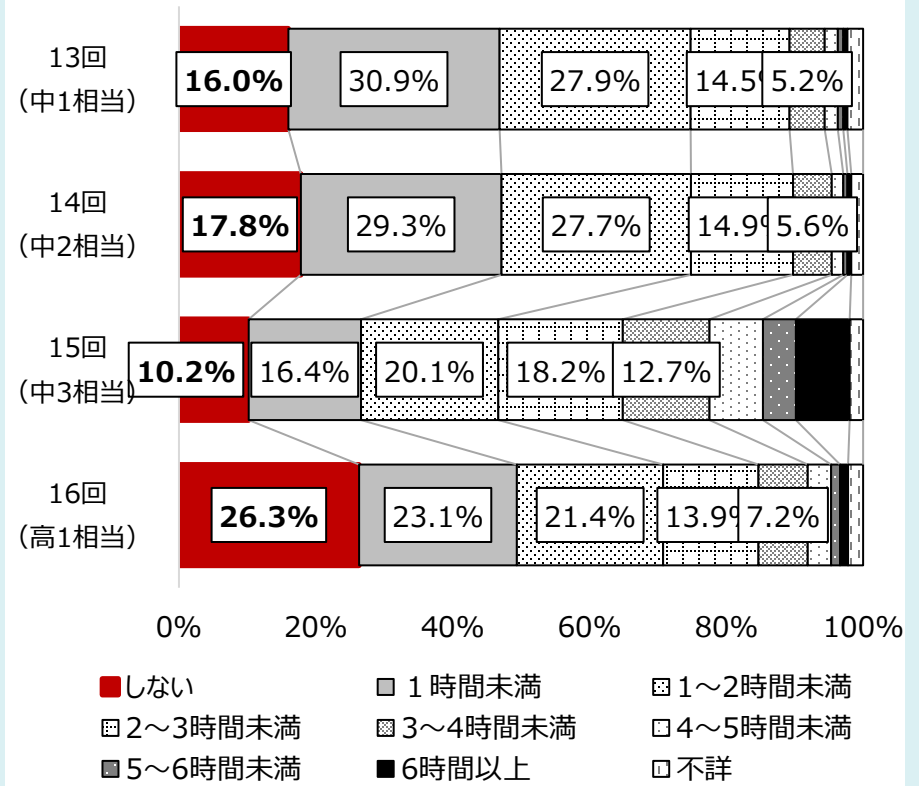
○ 学校外での学習時間について、高1相当学年において、家や塾で学習を「しない」と回答する割合が急増。

あなたはふだん、授業の予習・復習や受験勉強を家や塾でどのくらいしていますか。

## 平日



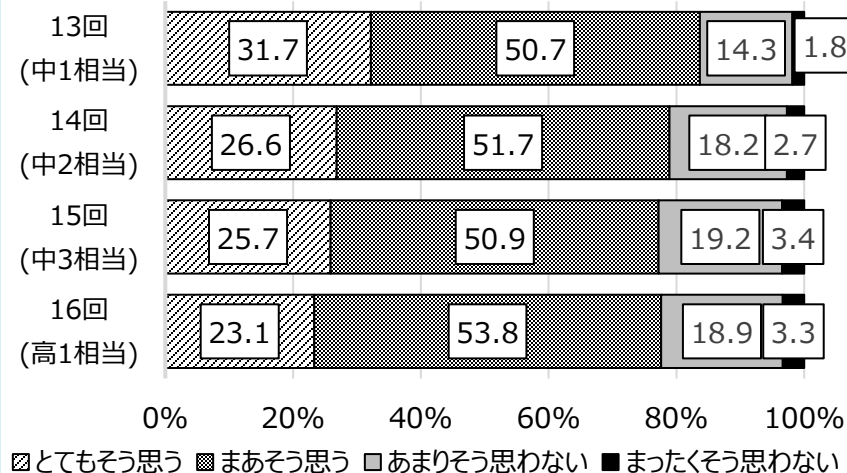
## 休日



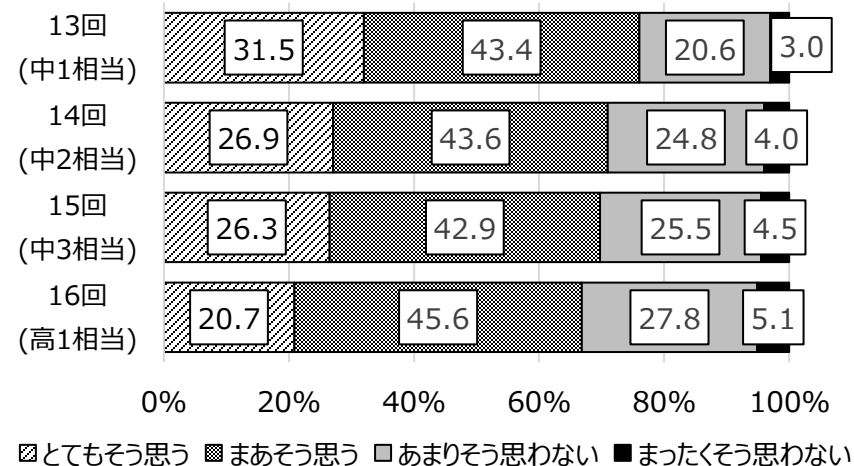
# 学校生活の満足度（縦断調査）

○ 学校での学び・授業の満足度・理解度について、学年が上がるとともに低下傾向。

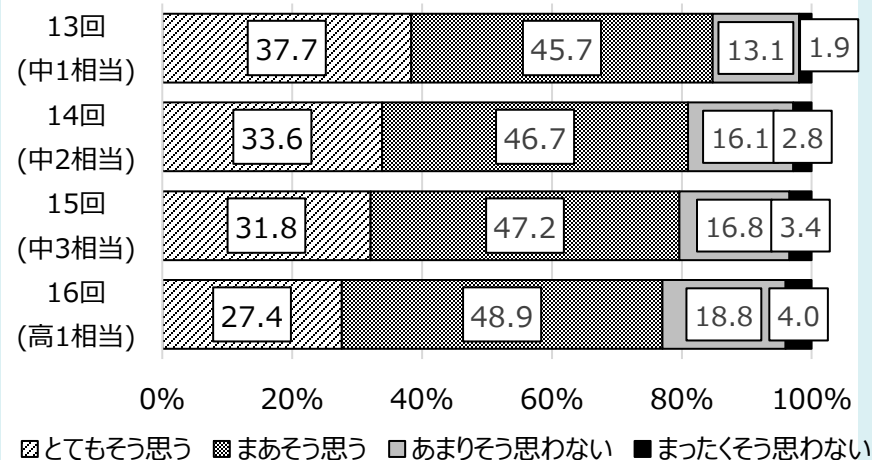
## ためになると思える授業がたくさんある



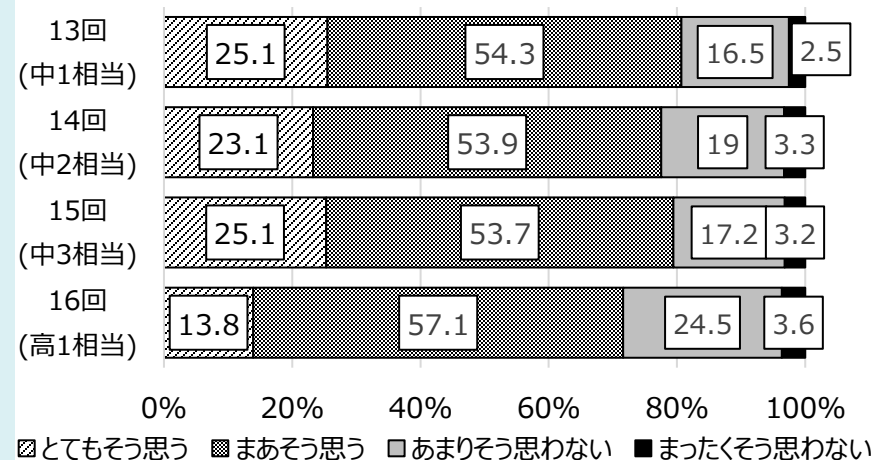
## 楽しいと思える授業がたくさんある



## 学校の勉強は将来役に立つと思う



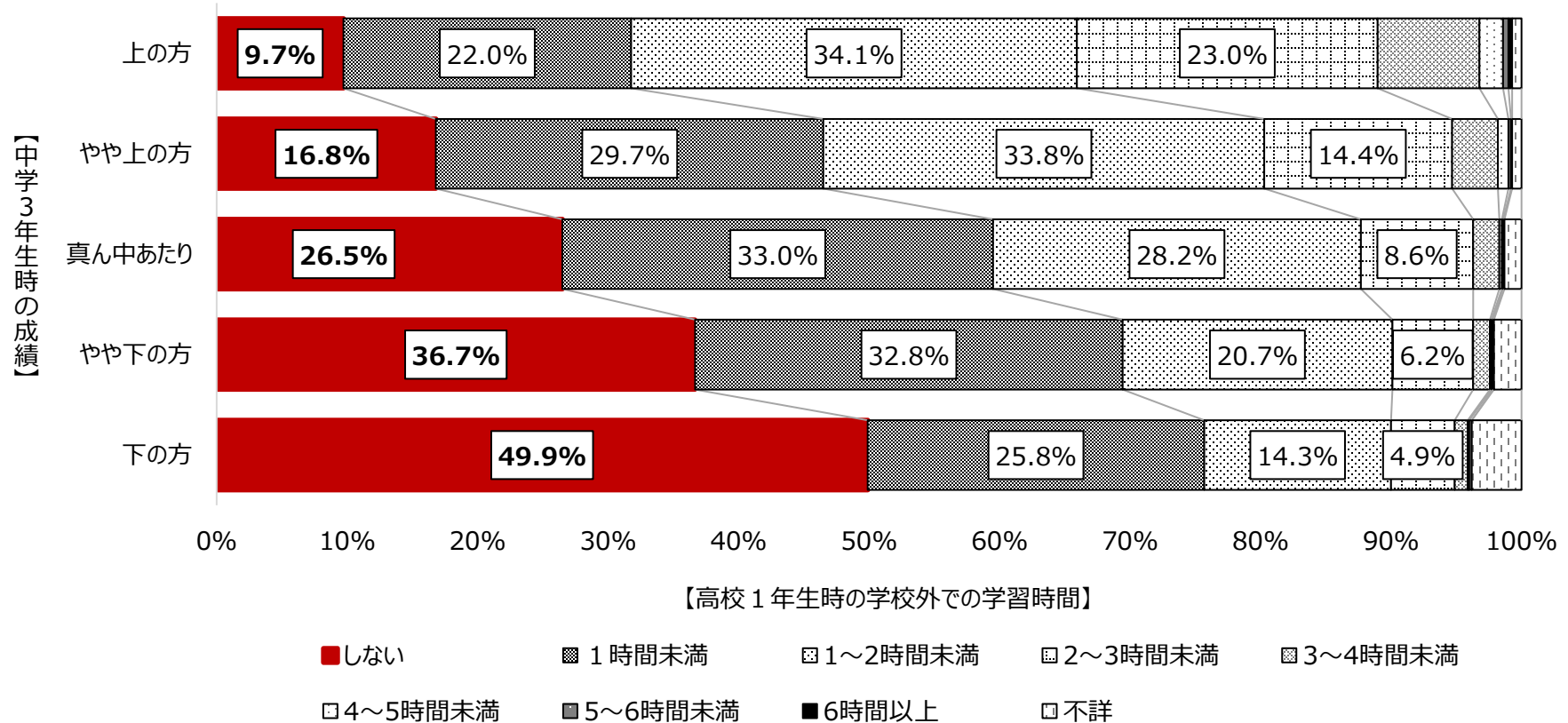
## 授業の内容をよく理解できている



# 高校1年生時の学校外での学習時間 × 中学3年生時の成績（縦断調査）

- 中3の成績と高1の学校外での学習時間との関係を見ると、成績が下位になるにつれ、学校外での学習時間は減少。
- 中3での成績が上位であっても、高1では学校外で学習「しない」と回答する者が一定数存在。

## 中学3年生のとき、あなたの成績は学年の中でどれくらいでしたか。（学校外での学習時間との関係）

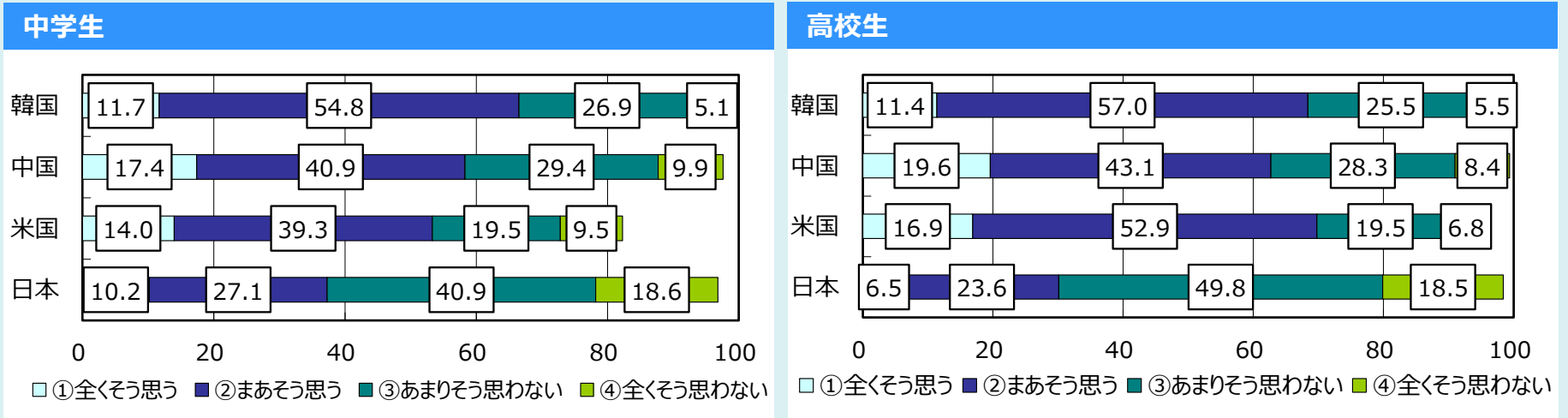


（出典）文部科学省・厚生労働省「第16回21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）」（平成30年9月）

# 生徒の自己肯定感、社会参画に関する意識

○ 他国の生徒に比べ、日本の生徒は、「自らの参加により社会現象が変えられるかもしれない」、「自分で国や社会を変えられると思う」という意識や、「社会課題について、家族や友人など周りの人と積極的に議論している」という割合が低い。

【問】私の参加により、変えてほしい社会現象が少し変えられるかもしれない。



(出典) (財) 一ツ橋文芸教育振興協会, (財) 日本青少年研究所「中学生・高校生の生活と意識 - 日本・アメリカ・中国・韓国の比較 - (2009年2月)」

【問】あなた自身について、お答えください。(※各設問「はい」回答者割合、各国n=1000)



# 高校生の卒業後の進路状況（学科別） [令和2年度]

- 普通科の卒業後の進路は、大学等への進学が65.3%で最多。
- 専門学科の卒業後の進路は、就職が46.9%で最多。
- 総合学科の卒業後の進路は、大学等、専修学校、就職が約3割とほぼ同数。



(出典) 文部科学省「学校基本調査」